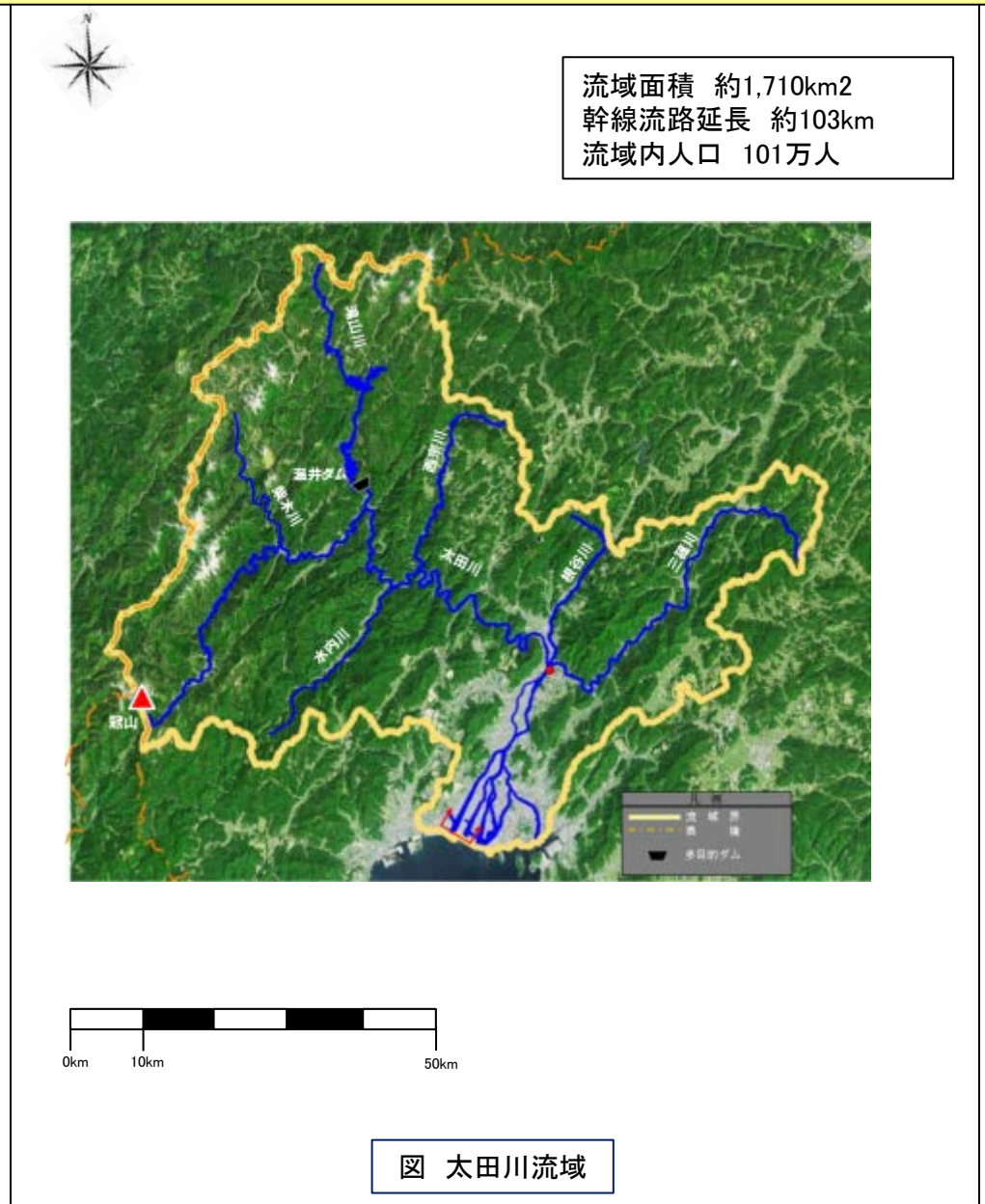
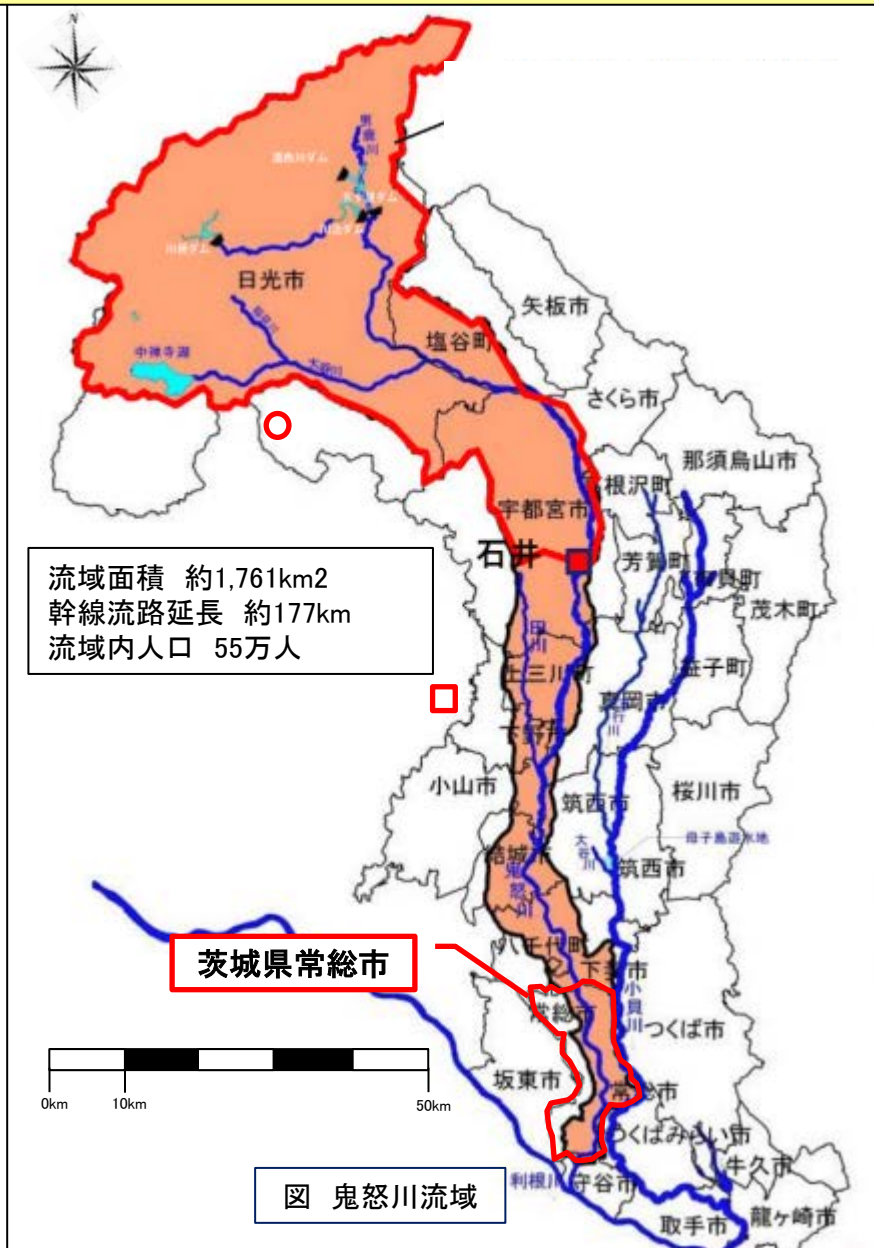


施設能力を上まわる出水に備えて

平成28年3月28日
太田川河川事務所

鬼怒川流域と太田川流域の比較

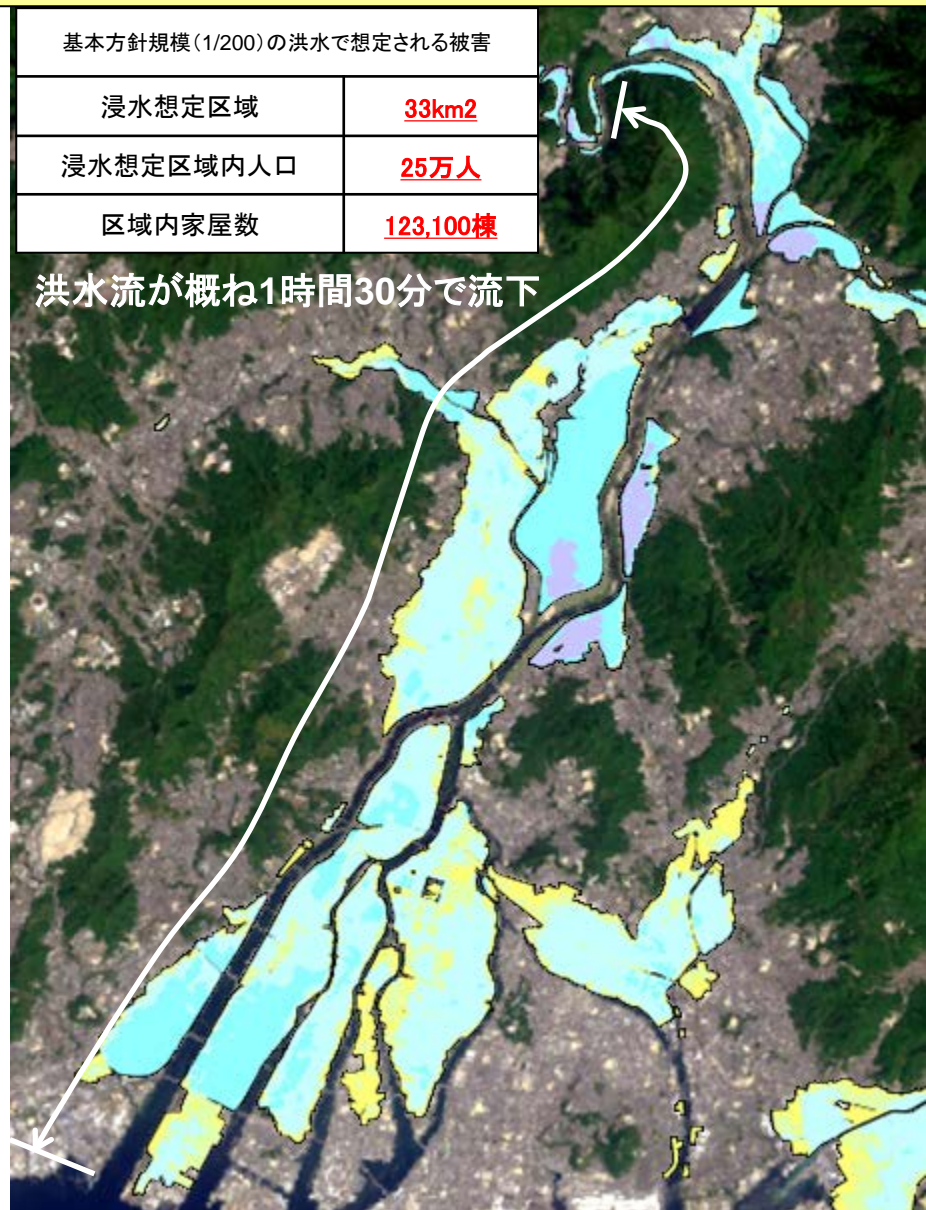
■流域面積はほぼ同様であるが、鬼怒川流域は南北に細長く合流する支川が少ないため上流の洪水で下流の水位予測がしやすいが、**太田川は四方から支川が流入し、可部付近では大幅に水位が上昇する恐れ**がある。



■この度の鬼怒川の浸水区域と比較し、**人口と資産が集中している太田川(広島市)の浸水範囲**、山地から平野部となる安佐北区から河口までは概ね1時間30分で洪水が伝播し**同時多発的に浸水被害が発生する恐れがある**



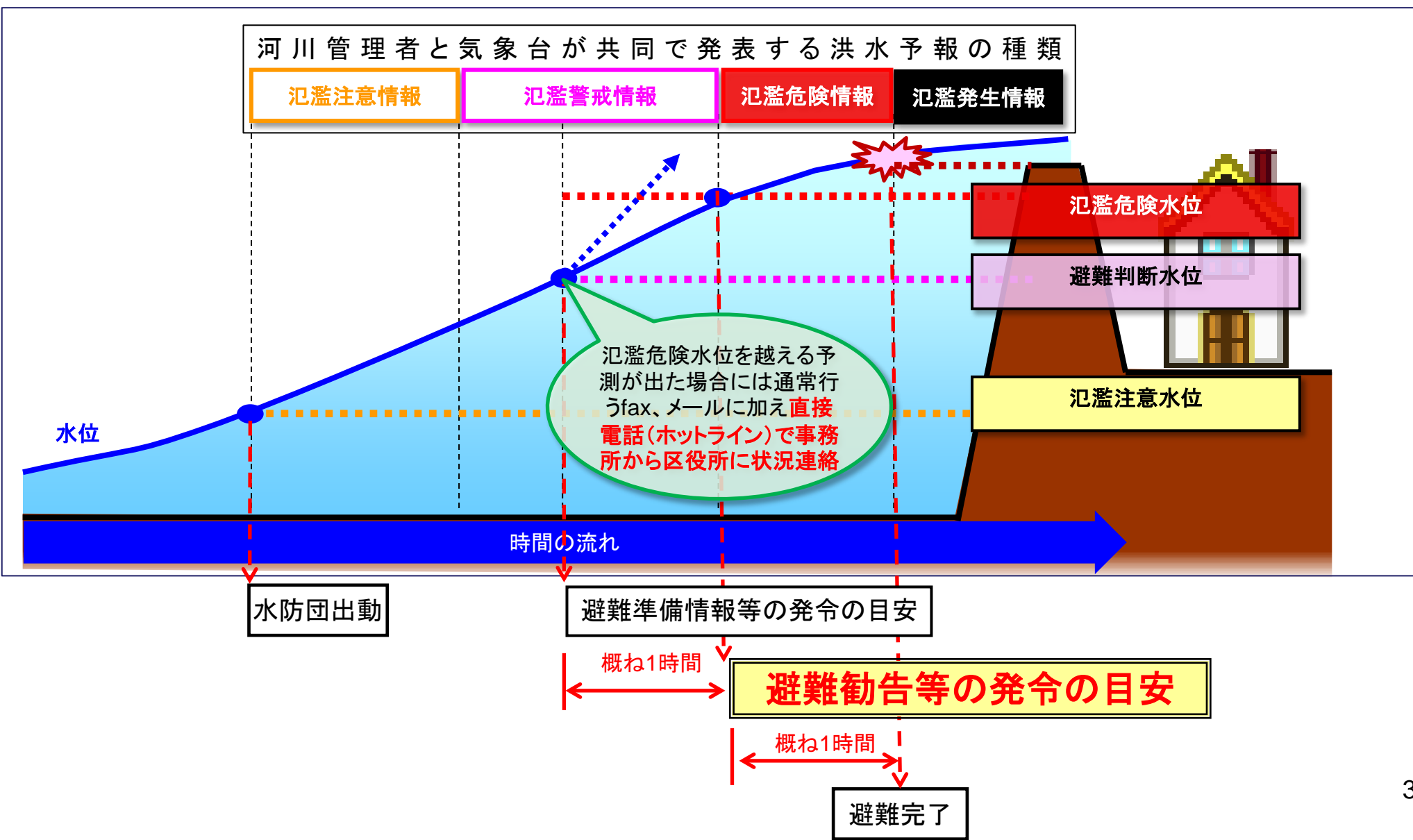
H27.9関東・東北豪雨被害	
浸水区域	40km²
浸水区域内人口	2万2千人
浸水家屋	11,000棟



基本方針規模(1/200)の洪水で想定される被害	
浸水想定区域	33km²
浸水想定区域内人口	25万人
区域内家屋数	123,100棟

出水時に河川管理者から提供される情報と対応を再確認

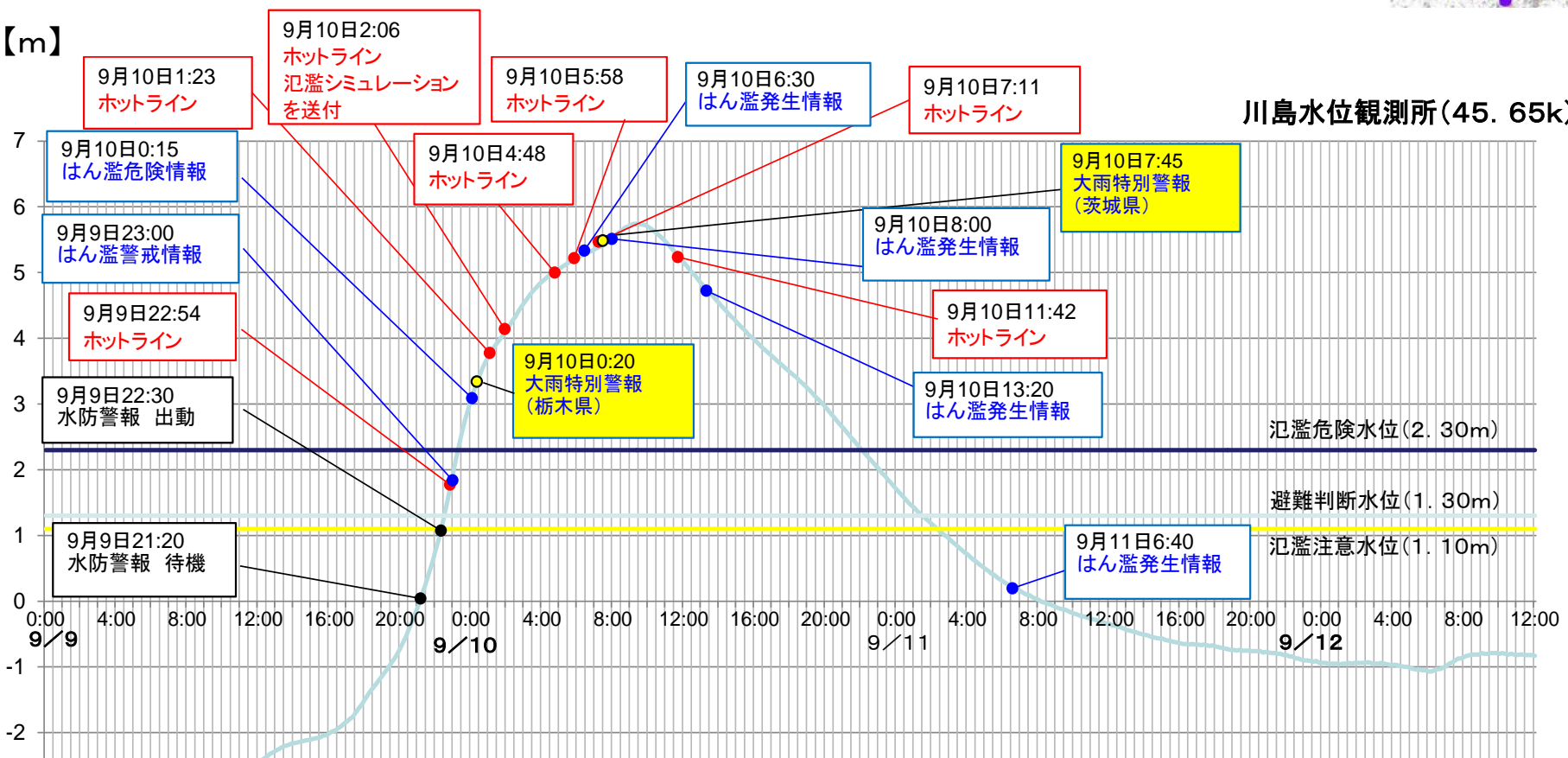
- 氾濫発生時点で避難が完了できるように1時間のリードタイム(避難勧告発令後避難に要する時間)を設定し、避難勧告発令の目安のはん濫危険水位を設定する予定。さらに1時間のリードタイムを設定し、避難準備情報の目安である避難判断水位を設定する予定。



常総市への避難に係る情報提供

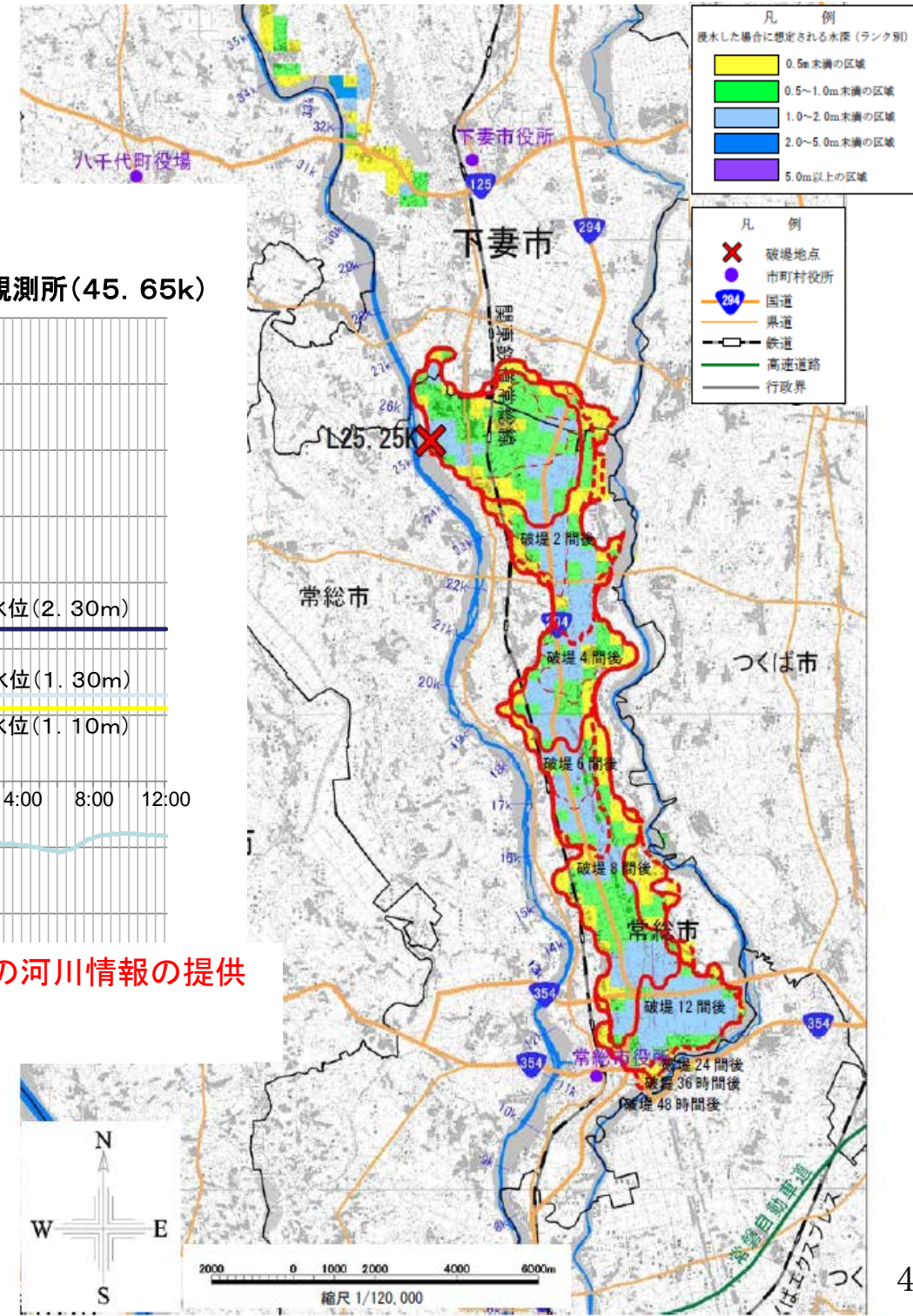
■ 堤防決壊前の9月9日22時54分から、事務所長は常総市長に複数回電話連絡（ホットライン）。河川の水位、堤防決壊の危険性、堤防が決壊した場合にどの程度の時間でどこまで浸水するのか、などの情報を提供。

情報提供の状況



* ホットライン: 国土交通省から常総市長へ、電話連絡による水位等の河川情報の提供
* 本内容は速報のため、数値等に変更が生じる場合があります。

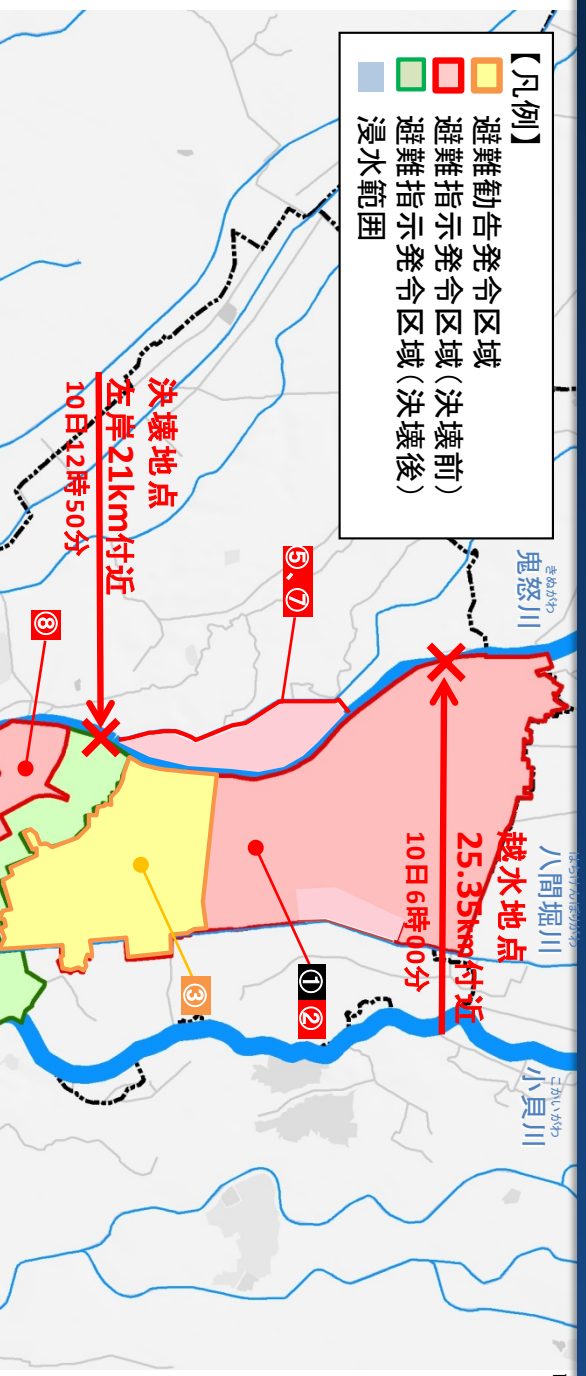
氾濫シミュレーション



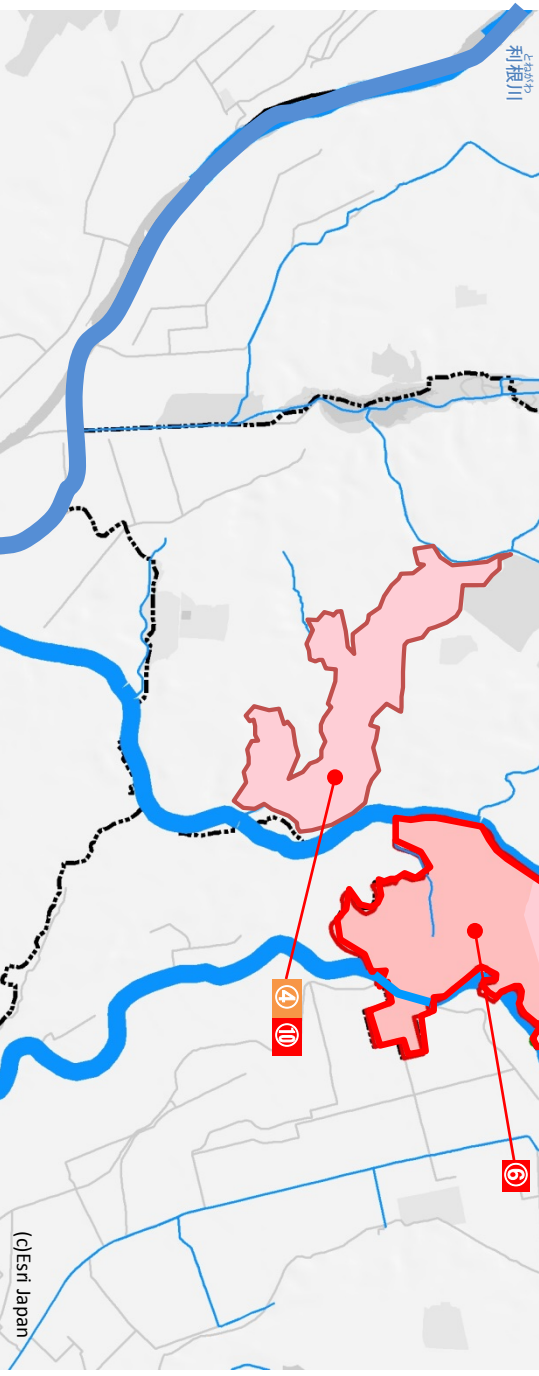
常総市 避難勧告・指示の発令状況

【凡例】

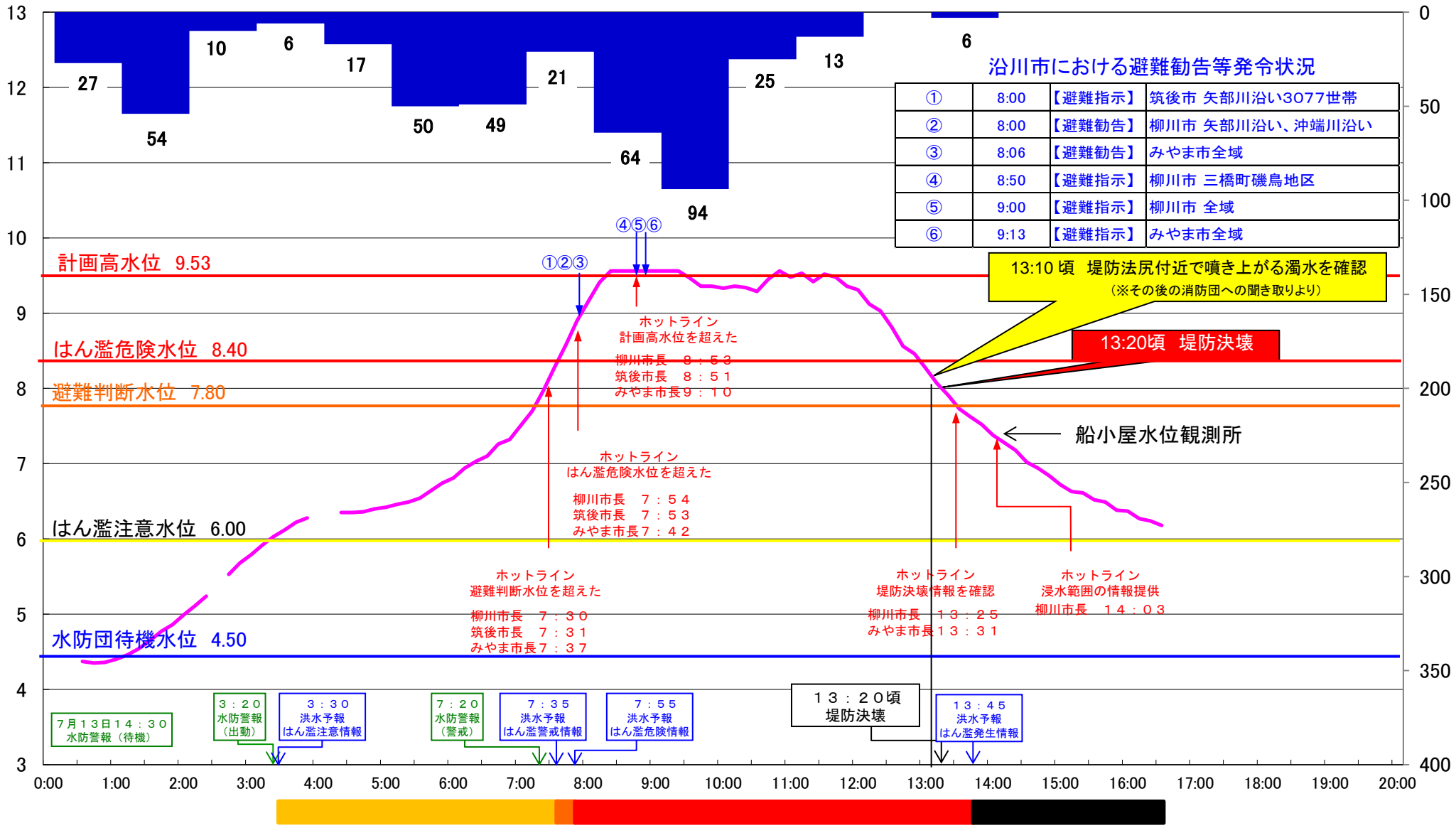
- 避難勧告発令区域
- 避難指示発令区域(決壊前)
- 避難指示発令区域(決壊後)
- 浸水範囲



No.	時刻	避難指示	発令区域	世帯	人口
①	10日 1:40	準備	玉地区、本石下、新石下の一部	2,448	7,229
②	2:20	指示 (切替)	玉地区、本石下、新石下の一部	2,448	7,229
③	4:00	勧告	新石下の一部、大房、東野原、山口、平内、取納谷	990	2,775
④	8:30	勧告	坂手地区の一部、内守各地区の一部、菅生地区の一部	62	186
⑤	9:25	指示	鬼怒川周辺の向石下・篠山	935	2,516
⑥	9:50	指示	国道324号線南側の水海道元町、水海道亀岡町、水海道栄町、水海道高野町、水海道天満町、水海道至町、水海道川又町、水海道淵頭町、水海道諏訪町、水海道山田町	2,661	7,138
⑦	10:10	指示	向石下	424	1,090
⑧	10:30	指示	三妻地区(中三坂上、中三坂下)	120	390
⑨	11:40	指示	大輪町、羽生町	343	1,072
⑩	11:55	指示 (切替)	坂手地区の一部、内守谷地区の一部、菅生地区の一部	62	186
⑪	13:08	指示	鬼怒川東地区	4,661	12,867



【参考】矢部川水系矢部川の対応状況(H24.7.14) 国土交通省



矢部川決壊までの時系列対応状況

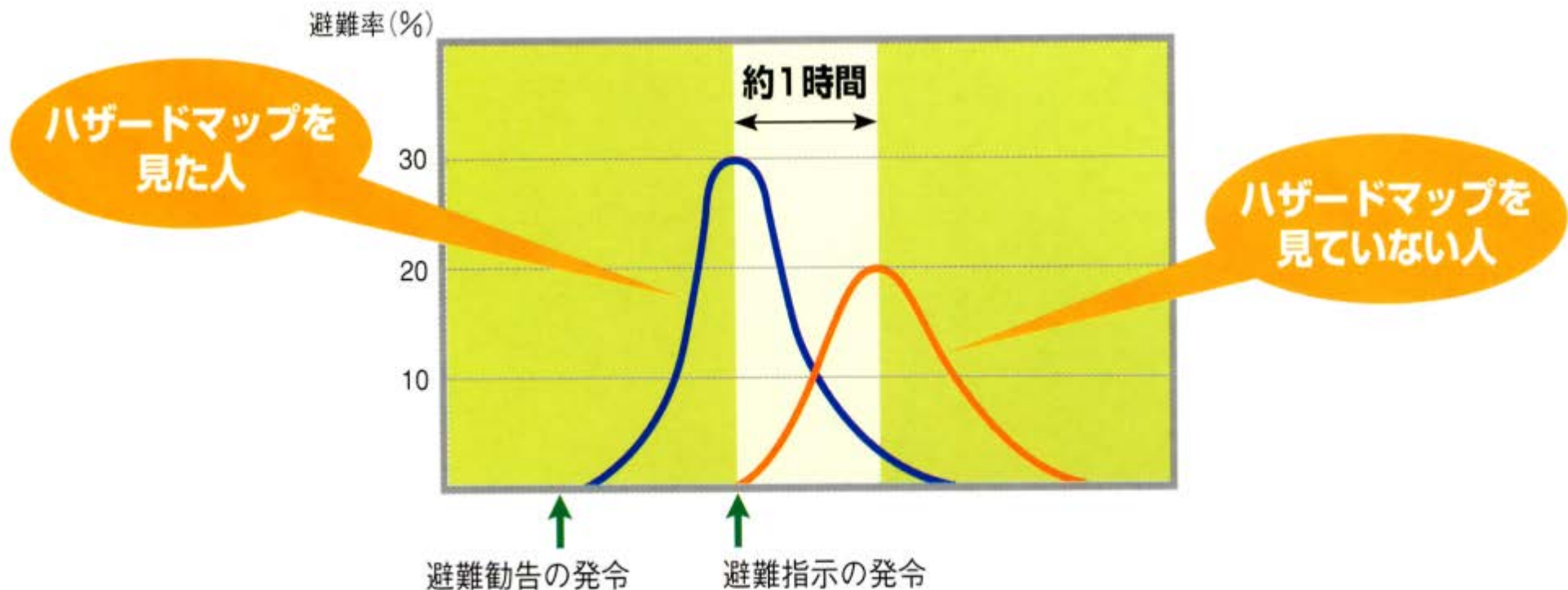
時刻	時刻	水位	水防警報	筑後市		みやま市		柳川市	
				ホットライン	避難勧告等	ホットライン	避難勧告等	ホットライン	避難勧告等
①	3:30		はん蓋注意情報						
②	5:00		強い雨を観測						
③	7:20		避難判断水位超過						
④	7:30							避難判断水位超過	
	7:31			避難判断水位超過					
	7:35		氾濫警戒情報						
	7:37				約30分				約30分
⑤	7:42								
	7:53			氾濫危険水位超過					
	7:54								
	7:55		氾濫危険情報						
⑥	8:00								
	8:00				約10分				
	8:06								
	8:06								
⑦	8:50		計画高水位超過						
	8:51								
	8:53								
	9:00								
⑧	9:10								
	9:13								
	9:13								
	9:13								
⑨	11:30		河川水位が下降傾向						
⑩	13:10		堤防法尻付近で噴き上がる濁水を確認						
	13:20		堤防決壊						



福島県郡山市における効果事例

ハザードマップを知っていると避難行動が早くなる

平成10年8月末の郡山市を中心とした豪雨災害では、ハザードマップにより避難開始時間が早まる効果が認められている



群馬大学工学部 片田研究室 調査報告書より作成

出典：群馬大学工学部 片田研究室

「平成10年8月末集中豪雨における郡山市民の対応行動に関する調査報告書」を基に作成

来年の出水期までに実施する事項

- 氾濫シミュレーションの公表
 - ・ 氾濫シミュレーションの公表
 - ・ 家屋倒壊危険区域の公表
- タイムラインの整備
 - ・ 避難のためのタイムラインの整備
 - ・ 太田川における高潮に対応したタイムライン(案)
- 洪水予報文、伝達手法の改善
- 市町村へのリアルタイム情報の充実
 - ・ 市町村へのリアルタイム情報の充実
 - ・ 地域住民の所在地に応じたリアルタイム情報の充実